

DOLCE & GABBANA

絢爛たるセクシヤリテイ

インパクトのあるアニマルモチーフや、セクシーなランジェリーファッションのイメージが強いのですが、マスキュランな仕立てのいいシャツやストライプのスーツは、女らしさを引き出してくれる、不思議な力も持っています。最先端モードでありながら、ベーシックも素敵。その魅力の秘密とは？

撮影/宮本直孝 スタイリスト/橋本早苗 ヘア・メイク/桜井 浩(AVGVST) 取材・構成/柳武麻実

グラマラスな神話

中野香織

女性はセクシーであることを積極的にアピールするのがカッコいい、っていうことになったここ数年のムードは、実は革命的なことではないか。フランスの次期大統領候補ロワイヤル氏がピキニ姿を撮られて人気を高めた、だなんて、サッチャー氏が英国首相をつとめていた20年前には考えられなかったことである。

この潮流を導いた偉大なアイコンとして思い浮かぶのは、意志的な肉体美のマドンナと、おおらか官能美のモニカ・ベルッチ。二大女王のピッチナ力をゴージャスなモードとして見せたのが、ほかならぬドルチェ&ガッパナの服だった。下着のアウトター使い、レオパード柄など「娼婦的」とみなされてきた表現を、高度な職人技と上質な仕立ての技術で淑女垂涎の高級モードに変え、ひいては女性が内に秘めてこそ花とされていた「セクシー」を堂々とアウトター化したといった、「ドルチェ&ガッパナ」。

ブランドの歴史はほんの20年ちよつとなのに、その圧倒的に広範な影響力ゆえ

「ドルチェ&ガッパナ」といえば「品格あるグラマラスの王道モード」を表わす記号として独り歩きするまでになっている。映画『メイド・イン・マンハッタン』では、エリート政治家レイフ・ファインズが一目ぼれるのが、宿泊客の「ドルチェ&ガッパナ」をこそと着ていたジェニファー・ロペス(メイド服のときは無視だったのに)。メイドがひと時だけのシンデレラになるわかりやすい服として使われたのが、「ドルチェ&ガッパナ」だったわけである。また、「ブラダを着た悪魔」では、アン・ハサウェイのファッション音痴ぶりを示すセリフが、「ガッパナのつづりを教えて」という電話の応対だった。ガッパナを知らない「ヴォーグ」編集アシスタント。それだけで世界中の観客の笑いがとれる。

モトローラと組んだ金色に輝く7万5000円の携帯電話も予約限定販売。神話の域に達しているステイタスを自覚してこそその華麗なビジネス戦略もセクシーとしか言いようがありません。

中野香織

服飾史家、コラムニスト。ケンブリッジ大学客員研究員を経て、執筆活動に。著書に『モードの方程式』『着るものがない!』などが。

上質な仕立てにも注目



シャツのリピート率が高いのは、ボディラインをきれいに見せてくれるから。その秘密は、後ろ身頃のセンタープリーツと両脇にあしらわれたダーツにあります。ストライプ柄はブランドのアイコンのひとつ。今季も多数展開されています。シャツ¥79,800(ドルチェ&ガッパナ/ドルチェ&ガッパナ ジャパン)

イタリア語でドゥエポットーニ。少し高めの台衿に、前部分に2つボタンが付いた衿。開けたときにも、美しいバランスを保ちます。

右のカフスにはDGの刺繍入り。ボタンひとつひとつにも、ロゴをあしらう凝りよう。カフスを折り返した着こなしも楽しめます。

進化するブランドSTORY

ブランドは1958年生まれのドメニコ・ドルチェと、1962年生まれのステファノ・ガッパナの二人のデザイナーによってスタート。85年に初めてレディスラインをミラノコレクションで披露。その後もニットウエア、ランジェリーとピーチウエア、メンズウエア、レディスのフレグランスを発表。93年、マドンナのウォールドツアーの衣装をデザインしたことで、その名は一躍有名に。94年にはヤングラインのD&Gやホームコレクション、アイウエアを、

その後もレザーグッズやジュエリーなど手がける。音楽やアートにも造詣が深く写真集も発表。04年からはサッカーチームのユニフォームや、去年のワールドカップのイタリア代表オフィシャルスーツをデザインしたことは記憶に新しいところ。近年は、銀座、表参道をはじめ、ロシアや中国にもショップを拡大。ブランド誕生から22年で、数々のアイコンを世に送り、目を見張るその躍進ぶりは周知のところ。去年ミラノにレストランも開店。

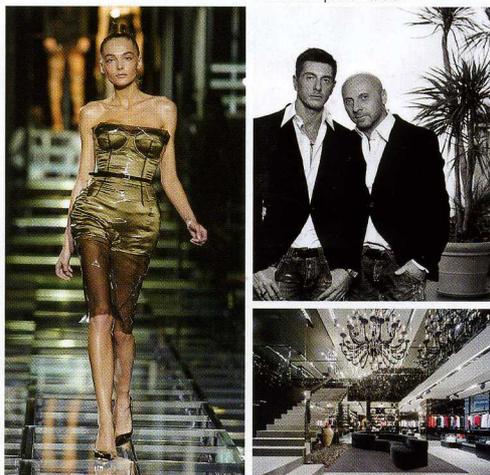


Photo:Giampaolo Barbieri

〈写真右上〉仲睦まじいデザイナーのポートレート。右がドメニコ・ドルチェ、左がステファノ・ガッパナ。〈写真右下〉モノトーンのシックなインテリアのなか、燦然と煌めくシャンデリアが印象的。表参道に面したシンボリックのショップは、去年の2月にオープンしました。〈写真左〉07年春夏コレクションのランウエイを飾ったセクシーなドレス。ショーの前半は、フューチャリスティックなスタイルが目立ちました。